

## 日本銀行金融研究所アーカイブの活動

日本銀行金融研究所アーカイブ担当 大宮 均

### 1. 日本銀行金融研究所アーカイブの概要

日本銀行金融研究所アーカイブ（以下、「アーカイブ」という。）では、日本銀行が作成した資料を中心とする金融及び経済に関する歴史的資料の収集・保存・公開を行っています。当アーカイブはまた、独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律及び同施行令に基づき、歴史的若しくは文化的な資料又は学術研究用の資料について、同施行令の規定による適切な管理を行う施設として総務大臣の指定を受けており、平成14年10月からは同法令の定めにより公開等の業務を行っています。

なお、日本銀行による歴史的資料の公開自体は、日本銀行創立100周年記念事業の一環として昭和57年から行われており、既に四半世紀近い実績があります。

### 2. アーカイブ所蔵資料の概要

アーカイブでは、明治15年（1882年）の日本銀行創業以来の、作成部署での保管期間が満了した資料や帳簿類等で、歴史的・文化的又は学術研究上の価値のあるものを、アーカイブ所蔵資料として保管しています。残念ながら、大正12年（1923年）に発生した関東大震災の際に、地震による大火によって日本銀行本店本館3階にあった公文保存室が焼失し、創業から被災までの間に作られた貴重な資料の多くが失われました。

それでも、日露戦争時に募集した英貨国債の見本や、ジョサイア・コンドル（重要文化財に指定されている日本銀行本店本館を設計した辰野金吾の先生）の作成した図画など貴重なものが数多く保存されています。また、高橋是清（元首相・大蔵大臣・日本銀行総裁）の書簡等個人寄贈資料も保有しています。

歴史的資料の収集は現在も続いており、日本銀行が作成した文書等（法人文書）のうち、原則として保管期間の区分が10年以上のものの中から、歴史的・文化的・学術研究上の価値があると認められるものを選別し、保管することとしています。このほか、こうした価値があるものについては、個人からの寄贈も受け入れています。

### 3. アーカイブでの閲覧・レファレンス

アーカイブ所蔵資料の利用を希望される方は、どなたでも、所定の手続きを取ることに

より閲覧ができます。閲覧は事前予約制になっており、閲覧を希望される方には、メール/FAX/郵送のいずれかでアーカイブに連絡するようにお願いしています（データシートの項参照）。

日本銀行は、民間金融機関との取引（資金の貸出等）を通じて、金利の調節等の金融政策を遂行していることなどから、所蔵資料の多くに法人情報等が含まれています。このため、法令の定めに従って、事前に非公開とする部分を特定しマスキングなどの措置をとることが不可欠な状況にあります。こうした事情に基づく事前予約制ですので、閲覧希望者の方々のご理解をお願いしたいと考えています。

因みに、アーカイブ所蔵資料の一般の方の利用は、アーカイブが発足した平成14年10月から平成17年度末（平成18年3月）までの間に、閲覧者が225人、閲覧冊数が875冊、複写（補助光を使わない撮影 デジタルカメラを含む の方式に限定）枚数は39,526枚です。そのほとんどが、金融史・経済史の研究者の方による論文執筆のための資料ないし、地方自治体史の編さんを担当されている方による編さん用資料としての利用です。

#### 4. 今後の活動

アーカイブでは、平成17年10月に、外部有識者から構成される「アーカイブ諮問委員会」を発足させ、アーカイブ活動の進め方、関係学界との交流等、アーカイブの運営に関する重要事項について審議いただくこととしました。

今年度は、同諮問委員会の答申を得て、以下のような課題に取り組んでいく方針です。

- (1) 歴史的資料の受入れ強化
  - ・ 行政機関から国立公文書館へ移管される歴史的公文書等の移管基準が平成17年6月30日付で改正されたことを参考として、日本銀行においてもその時々の問題意識を反映する広報用ポスター等のアーカイブへの移管を求めることとしました。
- (2) 保存対策の強化
  - ・ 紙媒体を中心とする歴史的資料を末永く利用可能な形で保存するため、外部専門家の協力を得て保存対策の基本方針を明定する予定です。また、劣化が著しい紙資料（第2次世界大戦と戦後の混乱期に使用された酸性紙など）の情動的価値を保存するための媒体変換（マイクロフィルム化）などを推進します。
- (3) 目録の整備・拡充
  - ・ 歴史的資料の利用を容易にするため、個別資料目録の有無、公開状況（全部公開・全部非公開・部分非公開の区分）等を記載した目録の作成・整備を、計画的に進める予定です。また、目録を電子化（電子目録化）し、検索等を容易にします。
- (4) 目録のホームページでの公開
  - ・ 電子目録を、アーカイブのホームページである、日本銀行金融研究所ホームページ「歴史的公文の公開」の項（データシート参照）に掲載するための準備を進めています。

(5) 利用者サービスの向上に関する検討

- ・ 国立公文書館等の他の同種機関での対応ノウハウを収集し、アーカイブで対応可能なものがあれば、利用規則を改正するなどして実施することを検討します。

(6) 年報の作成と公開

- ・ 17年度中のアーカイブの活動を記述したアーカイブ年報を作成し、ホームページで公開するための準備を進めています。



## データシート

平成18年4月1日現在

- ・機関名：日本銀行金融研究所アーカイブ
- ・所在地：〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町1-3-1
- ・電話/FAX/メールアドレス：03-3277-2151 / 03-3277-1456 / archive@imes.boj.or.jp
- ・ホームページ：http://www.imes.boj.or.jp/archives/index.html
- ・交通：地下鉄銀座線三越前駅から徒歩3分
  - ：地下鉄半蔵門線三越前駅から徒歩1分
  - ：JR東京駅日本橋口から徒歩10分
- ・開館年月日：平成14年10月1日
- ・組織：
  - 館長以下12名（うちアーキビスト6名。1名は日本銀行金融研究所貨幣博物館との兼務者）
- ・開館日/開館時間
  - 開館日：次の日を除き利用できます。
    - ・土曜日、日曜日、国民の祝日
    - ・12月28日から1月4日までの日
    - ・臨時休館日（事前にHP等で公示）
  - 開館時間：9：30～17：00
- ・主な事業（平成17年度）：
 

資料収集	日本銀行作成資料（保管期間10年以上）、個人寄贈資料等
所蔵資料整理	目録（簿冊）整備、個別資料目録整備
所蔵資料の保存	マイクロフィルム化、中性紙箱作製・収納
展示	日本銀行海外事務所・支店での周年記念展示への複製提供